

火災予防

火災はちょっとした不注意によるものから自然災害によるものまで原因は様々です。これからの時季は、気温の上昇、台風や大雨による風水害が懸念されます。火災発生のリスクを減らし生命・身体・財産を守るため、日ごろから火災予防を心がけましょう。

～これからの季節に気を付けておきたいこと～

① 花火は、ルールとマナーを守って楽しく遊びましょう

夏の風物詩といえば「花火」、子どもたちにとっても楽しい季節となりました。しかし、気軽に楽しめる花火も遊び方を間違えると火災や事故に繋がりがねません。火災や事故を起こさないよう十分に注意し、楽しい夏の思い出にしましょう。

注意事項

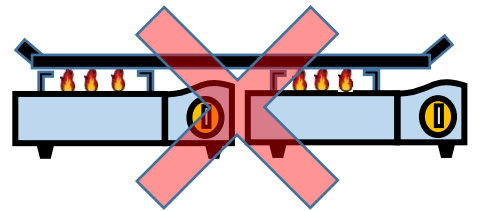
- (1) 花火の説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- (2) 風の強いときは、花火をしない。
- (3) 水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける。
また、ゴミは放置せずに持ちかえる。
- (4) 子供だけでなく、大人と一緒に遊ぶ。
- (5) 人の迷惑にならない場所と時間を選ぶ。
- (6) 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- (7) 公園など、火気使用が禁止されている場所では花火をしない。

② ガス器具の誤った使用方法による火災に注意

カセットこんろやガスバーナーなどを使用した屋外での火気の使用が増える時季です。使い方を間違えると火災の発生や火傷の原因となりますので注意しましょう。

注意事項

- ・カセットこんろのサイズにあった調理器具を使用する
- ・建物や可燃物の近くでガスバーナーを使用しない
- ・ガスバーナーを使用した後は、安全な場所で冷ます
- ・風の強いときは、屋外での火気の使用は中止する
- ・使用前に取扱説明書を十分に確認する



カセットこんろに合わない調理器具の使用や、並べて使用した場合、カセットボンベ部分が熱せられ破裂することがあります。



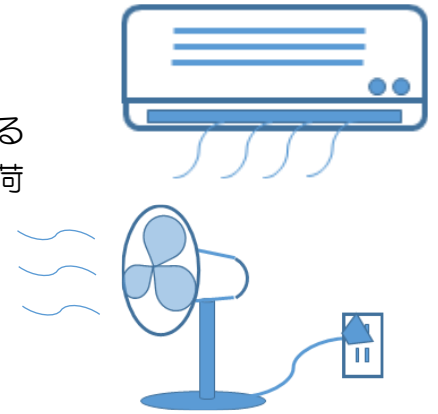
※ BBQも上の注意事項を守って安全に！

使用後の炭は、水に浸すなど十分に消火しましょう。

③ 夏場に使用する電気器具からの出火防止対策

夏場に使用する電気器具で、購入から何十年と経過しているものは、経年劣化によりモーター部分やコンデンサ部分に負荷がかかり、出火する恐れがあります。

- ・前に比べて音が大きい
- ・動きが悪い、不規則
- ・冷えない
- ・焦げ臭い
- ・本体が異常に熱い
- ・スイッチを入れても動かない



上記のような症状がある場合には、使用を中止してコンセントを抜き、近くの電気店、メーカーのホームページやお客さま相談センターに問い合わせをしてください。

しばらく使用していなかった電気器具は、コードが痛んでいないか、本体に損傷がないか、ほこりが付いていないかなど、使用する前または定期的に確認をお願いします。

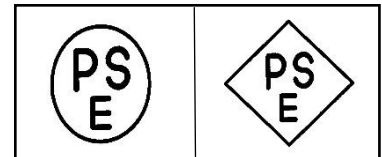
④ リチウムイオン電池からの火災に注意

近年、モバイルバッテリーやDIY用の工具などに使われているリチウムイオン電池は、充電方法や電池の劣化、外部衝撃、過充電など様々な要因から発火する恐れがあります。

注意事項

(1) 使用する製品は、PSEマークが表示されている安全性を満たした製品を使用しましょう。

※右のPSEマークは、電気用品安全法が規定する安全規格に適合する製品に表示されるもの。



(2) 充電をする際は、異なる製品の充電器を使用するのはやめましょう。

(3) 製品に付属されている充電器やメーカー指定の純正品を使用しましょう。

(4) 使用する際、バッテリーの膨張や異常な発熱、異臭などを感じたら使用を中止し、メーカーや購入店に相談してください。

(5) 不要な電池は、家電量販店やホームセンターなどの回収ボックスを利用しましょう。

(6) 充電したまま、放置しない。

⑤ トラッキング火災に注意

電気火災のうち、プラグの接続部分にホコリが溜まり、ショートして出火する現象をトラッキング火災といいます。トラッキング火災は、湿度の高い今の季節に発生しやすいため、冷蔵庫などのコンセントを確認し、出火防止に心がけましょう。

